



# 横尾中だより

校訓「自立」 〈学校スローガン No Challenge, No Chance〉

R5. 5. 17

第9号

発行者  
長崎市立横尾中学校  
校長 小浦 末浩

## 体育大会を終えて



1学期の中でも重要な行事である「令和5年度体育大会」が、5月14日（日）に終了することができました。前日、13日（土）の雨のため、グラウンドの状態が悪く、テント立てやライン引き等に時間がかかってしまい、開会式予定開始時刻の8時50分を20分も繰り下げての開始となってしまいました。早朝からご来校いただいた来賓・保護者の皆様にはたいへんご迷惑をおかけいたしました。

また、少しの時間でも生徒を休ませる場面がほしかったために、PTAに無理にお願いして「玉入れ」を入れさせていただきました。ご参加いただきました保護者の皆様、ご参加ありがとうございました。

グラウンド状況のため、競技の順番の入れ替えを行ったり、生徒会種目の「台風の目」では男子の部で列数が違って再レースになったりと、さまざまなアクシデントが起こった体育大会となりましたが、どうにか終わることができました。何より、これまでマスクで顔がよく見られなかった生徒の、満面の笑顔が見られた事が何よりよかったなと思えた体育大会となりました。来賓・保護者の方々の来校者も300人近くになり、主催者としてもたいへん喜ばしいことでした。

また、今年度も地域連携の一環として、横尾だんじり保存会の皆様に「だんじり」をご披露いただきました。生徒も5名参加してくれており、地域の伝統文化を支えてくれていました。川原会長様には、毎年、ご苦労をおかけいたしております。ありがとうございます。



昨日、生徒の体育大会の感想文を読ませてもらいました。たくさんの良い感想がありました。特に、1年生が3年生を褒めている部分があり、3年生が下級生の良いお手本になっていることが感想を読んで改めて知ることができました。何人かの感想文をご紹介します。

松下さん

大きな声を出す時は、それなりの大きさを出せたけど、まだいけるんじゃないかなという思いも少しありました。細かい振りつけ、作業など最後まで諦めずにできたのが良かったです。自分のチーム、クラスだけでなく、先輩方や青団の人など、関係なく応援することができました。勝ち負け関係なく、笑顔で楽しめました。3年生は最後の体育大会だったので、最後は勝つという思いと笑顔で楽しめたらいいなという思いで挑んだので、勝ててよかったなと思いました。分からないところも丁寧に優しく教えてくださった先輩方、汗を流しながらも一生懸命最後まで頑張っていた先輩方がいたので、カッコいいなと思いました。3年生になった時だけでなく、来年2年生になった時も一生懸命最後まで諦めず頑張りたいです。中学校初めての体育大会で、小学校の時は片付けもすぐ終わっていたけど中学校ではいろいろな作業が多く、自主的にできたので良かったです。あまり関わりが少ない人とも一緒に応援できたり、仲の良い友達と違うチームになったけれど、関わりが少ない人ともより仲や絆が深まりました。協力し合いながら団結することができたのかなと私は思いました。最初はみんなとうまく行けるのかなと不安でしたが予想以上に盛り上がり、体育大会は最初から最後の片付けまでが体育大会なのかなと気づくこともできました。笑顔でできたのが何よりで、いい体育大会になったと思います、本当に良かったです。これからもきつい事などもあると思うのでお互いを励まし合いながら一生懸命全力で諦めずやろうと思った体育大会でした。

【裏面に続きます】

## 酒井さん

まず準備や片付けをみんなで協力してできたことが良かった。雨などで地面がしめっていたので、転んだりしないか不安だったけど転ばなかったから良かった。そして、長縄は練習では息が合わず、最後まで苦戦だらけでどうしようと皆が心配していたけど、本番では皆が一生懸命引っかからないように跳び、皆が跳びやすいようにできるだけ低く回したり、縄を短くしたり、みんなで工夫をし、始めより上手く沢山跳べたので良かったです。学年種目も1回戦目は負けたけど2回戦目に悪いところを皆で直し勝つことができました。リレーでもバトンを渡す時に「はい」と声を出したり、前の人を抜かすために一生懸命走ったりできた。生徒会種目の台風の目でも最後まで声を出したり、協力できて良かった。皆が団結して楽しい体育大会になった。



## 富田さん

勝った事より、とても大きな物を得られるということが分かりました。最後の体育大会で、このメンバーで、もうないので全力で楽しみました。悔いは無いです。また足が遅い私にとってリレーは本当に苦手なのですが、目標である「全員リレーを頑張る」では、遅かったは遅かったけど、とても楽しみながら全力で走り抜く事ができました。

ソーラン節では、赤団は円陣を最初に組みました。赤団が1つになっているように感じ、元気が湧き、少し失敗をしましたが、力強く踊れました。ブラスバンド部の私は、校歌ともう1曲を吹きましたが、先生達から「上手になったね」と言われ、残り少ない時間も頑張ろうと思いました。私の挑戦は全てクラスのメンバーが支えてくれて達成できたんだなあと改めて思いました。

体育大会は、運動好きも苦手も楽しめた最高の日となりました。高校でも体育大会があったら、中3の時よりも「倍」頑張っていきたいです。勝って嬉しかったです。



## 松下さん

今回の体育大会はまさに「挑戦」した体育大会だったなと思いました。僕は初めて大会の実行委員をしました。そして、ソーラン節のダンスの工夫をしたり、縦割り練習の時にみんなの前に立って説明したりするダンスリーダーにもなりました。実行委員では、クラスをまとめることは、みんなが1回で僕の指示を聞いてくれて大変ではありませんでした。ですが、体育大会の準備やスローガン決めが難しくとても大変でした。しかし、どの仕事もとてもやりがいを感じる仕事で楽しかったです。

ダンスリーダーの仕事では、みんなの振り付けの意見をまとめたり、みんなの前に立って振り付けを教えたりすることは難しく、いつもみんなの前に立っていろいろなことを教えてくださる先生方の凄さを感じました。いろいろありましたが、とても楽しい体育大会だったなと思いました。



## 飯田さん

私は今回、実行委員長として開会式の実行委員長あいさつを通して「実行委員がどういう思いを込めて今回のスローガンになったか」や「今回の体育大会を通して経験や変化を楽しみながらよりよい横尾中にしたい」などという気持ちを伝えられたことが一番良かったなと思いました。

結果は青団が負けてしまいましたが、どれだけ多くの事を学ぶことができたかが大事なことだと思っただし、みんなが全力を尽くせていたと思うので、後悔しなかったです。また全ての種目にいろんなストーリーがあって、みんなが楽しめていたので良かったです。とても楽しそうな姿を見て、改めて実行委員として、チームの中の一人として頑張ってたよかったと思いました。またみんなが楽しめたのも係を引き受けてくれた人や、保護者の方々、PTAの方々のおかげだと思ったので感謝の気持ちを忘れないようにしたいです。